

救援物資供給の協定



8月7日、株式会社伊藤園と「災害時における救援物資の供給に関する協定」を締結しました。

市では、災害対策を強化するために、自治体や民間事業者などと災害協定の締結を積極的に進めています。

この協定は、災害などが発生し、飲料水が不足する場合に備え、市の要請により株式会社伊藤園がお茶や水などの供給に協力していただくものです。

協定締結

災害時等の水道資材供給の協定



8月7日に富士機材株式会社東京第二支店（写真左）と、また8月12日には大一企業株式会社（写真右）と「災害時等における資材の供給に関する協定」を締結しました。

水道施設の復旧には、水道資材の確保が重要です。

この協定は、災害時等において被災した水道施設を早期に復旧するため、市の要請により富士機材株式会社、大一企業株式会社が保有する資材の供給に協力していただくものです。

水辺のあそび



8月3日、大曽根ビオトープで「水辺の遊び」のイベントが開催され、26人の小学生たちとその家族が参加しました。

子どもたちは、カヤックに乗って遊んだり、魚やカニをつかまえたりして、笑顔で自然と触れ合っていました。

このイベントは、県の「川ガキ体験イベント」の一環として、平成26年度環境大臣賞「地域環境美化功労者表彰」を受賞した「大曽根の湿地ビオトープを守る会」の皆さんにより行われたものです。

これでわたしも縄文人



8月3日、やしお生涯学習館で、「縄文人の土器づくり」が開催され、5人の子どもたちが参加しました。

当日は、土器製作用の陶土をこねることから始めましたが、土が固く、「よいしょ」と力を入れる声が聞こえてきました。

食べ物や水などを入れることができるような器で、さらに焼く時に割れないように造るため、「むずかしい」と言いながら厚さなどの工夫をしていました。

絵図から読み解く当時の暮らし



8月10日から9月28日まで、資料館では、開館25周年記念事業 第32回企画展「村の開発と人々の暮らし～小澤家絵図を読み解く」が開催されています。

この展示会では、八條領大物代であった小澤豊功が作成、収集した絵図から、江戸時代の先人たちの暮らしなどを紹介しています。

見学者は「難しい文書や絵図の書かれた意味が理解できて興味深かった」などと話していました。

市長表敬訪問



8月6日、第41回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場が決まった、大原中学校の3年生2人が、市長を訪問し、大会に向けての抱負を伝えました。

2人の種目は走り高跳びで、通信陸上競技大会の標準記録を通過したことにより、全国大会への出場が決定したものです。

市長からは「緊張せず楽しんできてもらいたい、友だちをたくさん作って今後の競技に生かしてください」との言葉がかけられました。

いきいきやしお写真館